

構築をはやくしっかりと作ることが面談を進めるうえでは重要だと考えており、当協会の「キャリアコンサルタント養成講習」でも傾聴の演習部分は厚めにおこなっています。私自身、指導のほかキャリアコンサルタントとして現場での面談も行っていますが、目の前のクライアントと向かい合っていると、やはり気持ちを扱う部分の勉強は大切なんだということを実感しますね。

●「キャリアコンサルタント養成講習」の話が出てきましたので、講習の特徴についてもう少し教えていただけますか

当協会の指導者は、キャリアコンサルタントとして実践現場の事例を持っているので、今の事例や新しい情報をもとに指導ができることや、リファー先について適切に判断するための知識や視点も持っていますから、実務家としてキャリア分野だけでなくメンタルヘルスの指導もできるところが強みです。講師として抱えていないのでおのずと実務家になるという面もあるかもしれませんが、専門性を持った実務家、プロの集団がトレーニングされ指導をしている感じです。クラスの定員は最大 30 名ですが、演習は演習講師 1 人に対して受講者 6 人を 1 グループとする少人数制で手厚い指導を行っており、演習の際には参加しない人がいないよう必ずそれぞれの役割を体験し学ぶようになっています。さきほどお話しした「傾聴」、関係構築の部分は大切にしていますが、もちろん聴くだけで終わるのではなく、関わって問題解決まで進めるようなカリキュラムとして、すぐに実践で活かせるようなプログラムを意識しています。

●受講者はどのような方が多いのですか

本当にいろいろな方が受講しにこられますが、産業カウンセラーに看護師や保健師の方が多いのでその分野の方も多いです。最近では、社労士や弁護士事務所、専門学校の事務局の方なども増えてきて、本業サービスの付加価値としていろいろな場面でキャリアコンサルティングが求められるようになってきたように感じています。指導者が手厚くクラス運営に関わっているということもあるでしょうが、あっという間にクラス全体でスクラムを組んでみんなで助け合うといった雰囲気になるのは、やはり対人支援を志す方々の集まりならではのですね。このような関わりの中から自身も指導者を目指す方も多く、指導者への道は簡単ではありませんが、自分が講座で指導してもらったことをのちの受講者にも受け継ぎたい、誰かのために役立ちたい、といった思いが DNA のように流れている感じがあります。

●指導者への道の話が出ましたが、貴協会では資格取得後にどのような活かし方があるのでしょうか

指導者以外では、支部で行っている会員研修の講師や応札業務への派遣、電話相談員など、主にご自身が所属している支部で活躍の機会を探していただくことが多いです。また、協会の無料職業紹介制度をご利用いただくこともできます。もちろん、それら業務を行っていただくためにはそれ相応の研鑽が求められることはご理解いただきたいと思います。

●資格を取ればすぐに仕事ができるわけではないですからね。最後に、読者の方にメッセージをいただけますか

やみくもにただキャリアコンサルタントになりました、ではなく、何か目標をもって、キャリアコンサルタントとしての自分の専門分野を確立して行ってほしいですね。そうすることでおのずとその分野で勉強しなくてはいけないことや研鑽を積まなくてはいけないことが見えてくると思います。待っているだけでは活躍の機会は来ませんから、ネットワークを張り巡らして自分から動いてくことも必要だと思います。当協会には更新講習やスーパービジョン制度など研鑽の場だけでなく、協会全体での社会貢献の場や全国研究大会での研究発表機会などをいろいろな場面をご用意していますので、お互いに高みを目指して積極的に活用していただきたいですね。

【 団体基本情報 】

一般社団法人 日本産業カウンセラー協会
(東京都港区新橋 6-17-17 御成門センタービル 6階)

団体の HP はこちら→<http://www.counselor.or.jp/>

キャリアコンサルタント養成講習の HP はこちら→<http://www.jaico.cc/>